

ラス網のたるみ確認試験

平成26年3月7日
株式会社建築構工法研究所

1. 試験体図

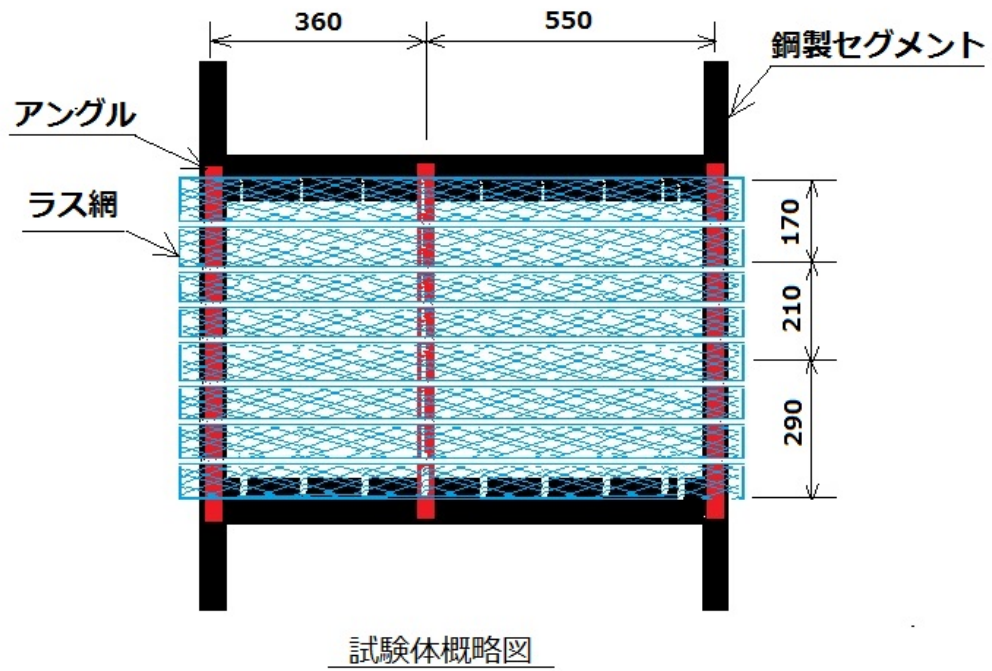


写真1 試験体

2. 試験方法

- ① タイカモルタルを5mm厚さで吹付ける。
- ② 吹付け後、まもなく吹付け面を下にして、裏面からラス網の留めつけ間隔の中央部のたるみ量を測定する。
- ③ 24時間後、厚さ35mmまで吹付け施工を行う。
- ④ ガラス繊維ネットを伏せ込み、終了後まもなく吹付け面を下にして、裏面からラス網のたるみ量を測定する。

3. 測定結果

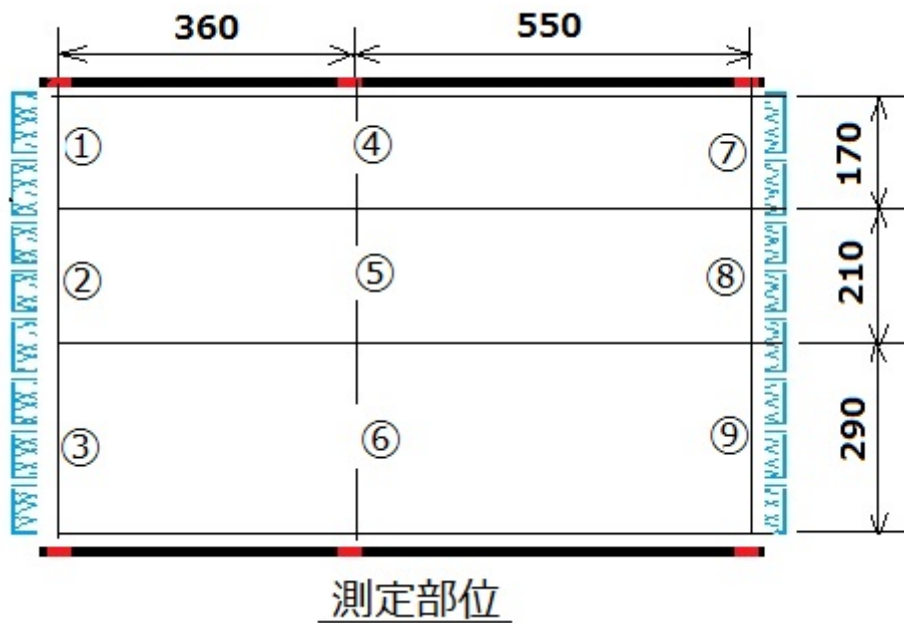


表1 5mm吹付け後のたるみ量

測定部位	たるみ量 (mm)
①	5
②	10
③	10
④	3
⑤	5
⑥	10
⑦	3
⑧	5
⑨	15

表2 35mm吹付け後のたるみ量

測定部位	たるみ量 (mm)
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	

4. 試験状況写真

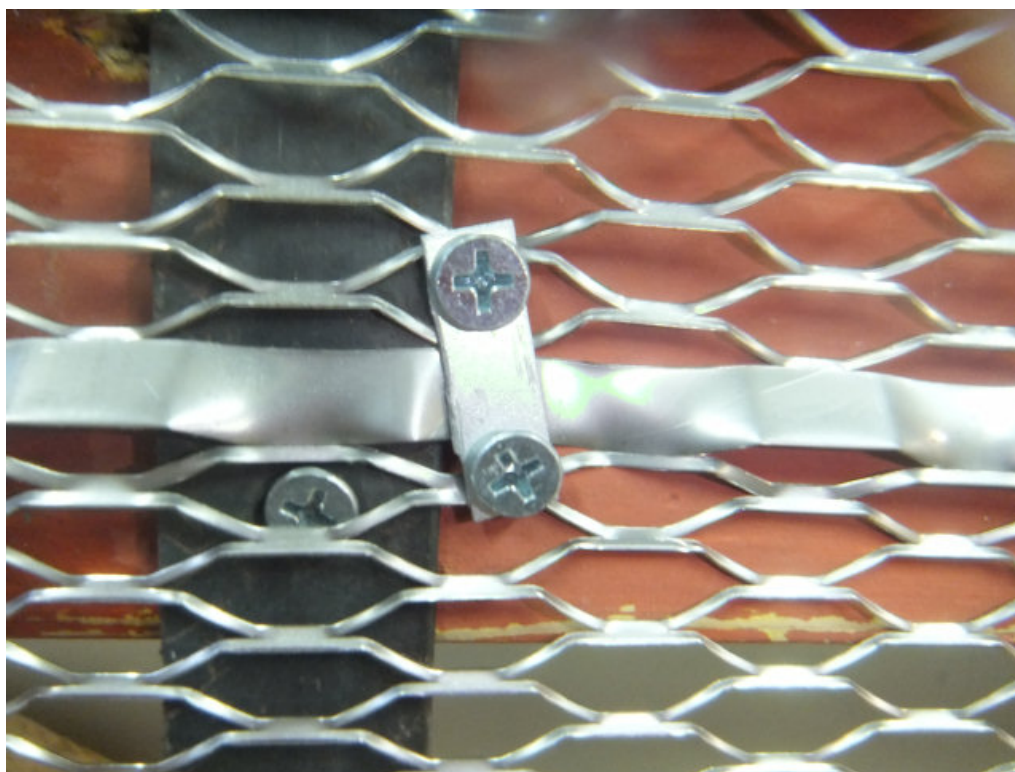


写真2 留め付け金具

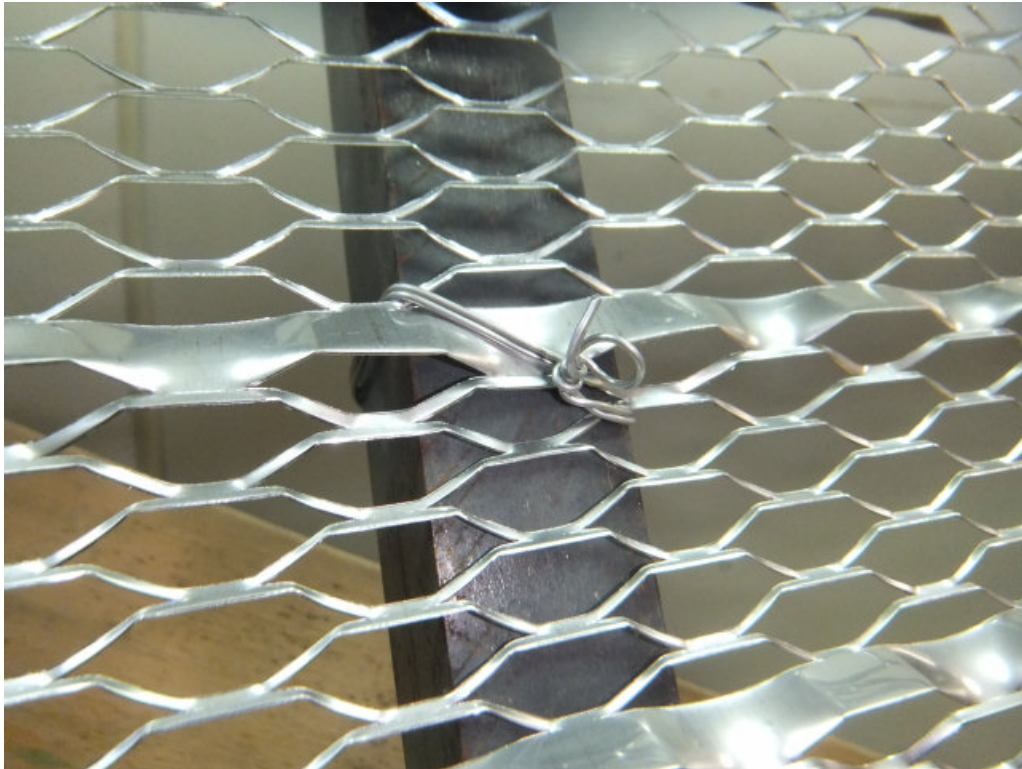


写真3 留め付け金具（結束線）



写真4 吹付け状況



写真5 5 mm厚さ完了後

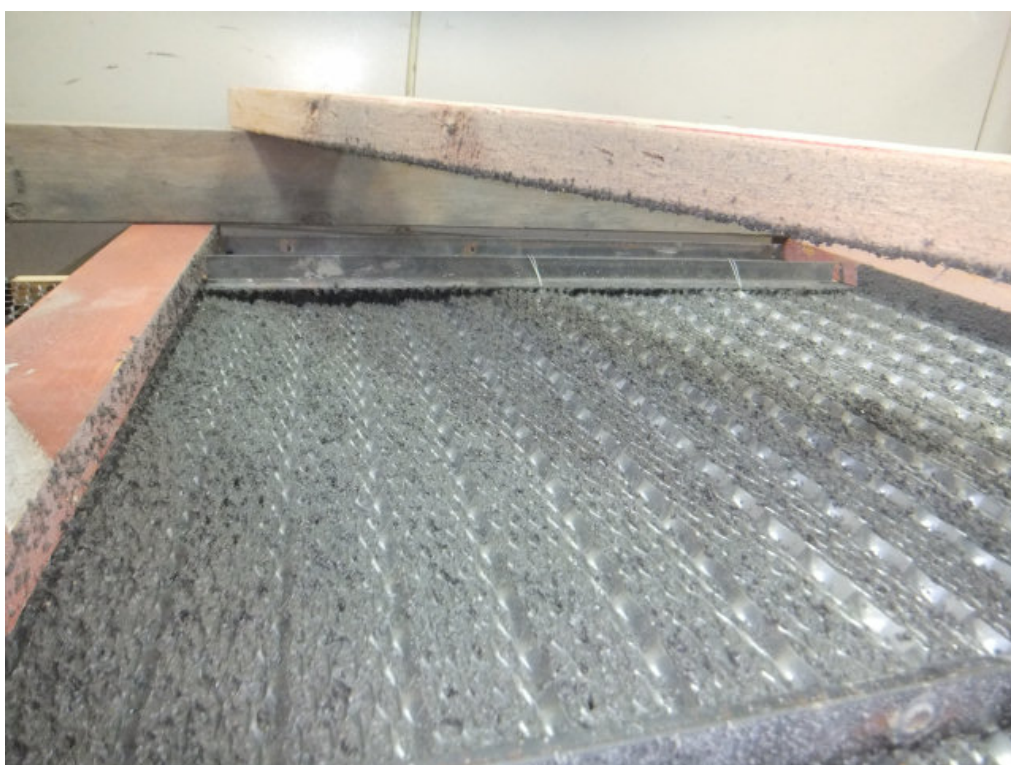


写真6 たるみ状態（裏面側から撮影）

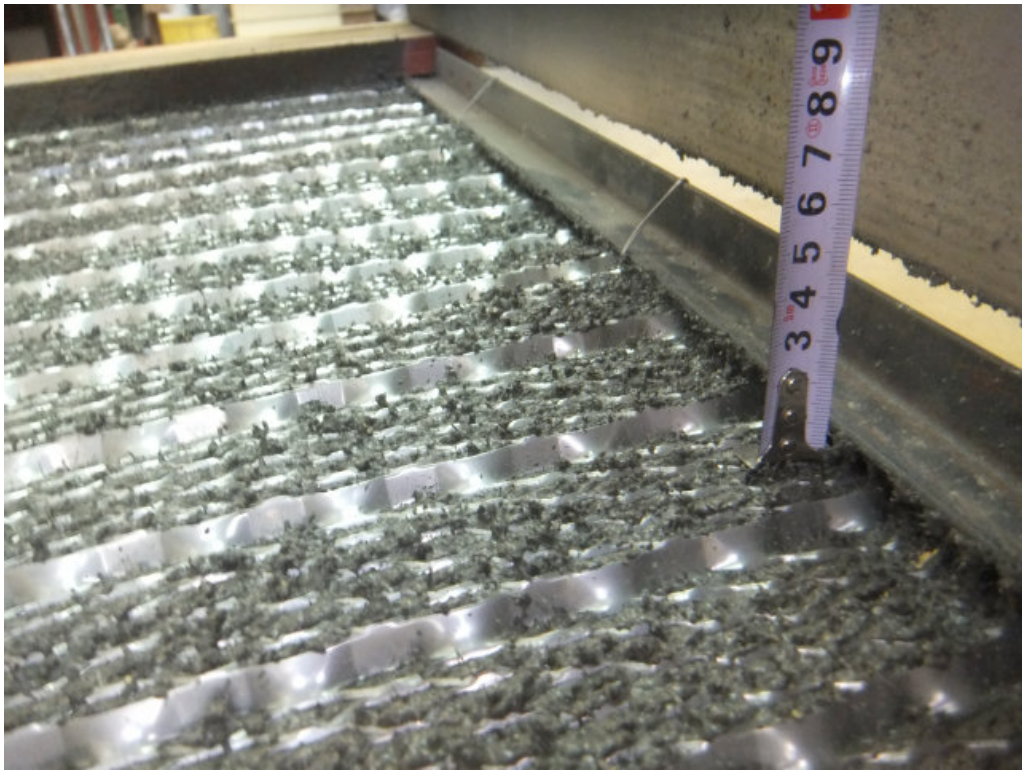


写真7 たるみ測定状況



写真8 35mm施工完了後



写真9 裏面側からの状態



写真10 裏面側からの状態



写真 1 1 たるみ状況 (測定部位⑨部)



写真 1 2 たるみ状況 (測定部位⑨部)